

## 第4章 協働プロジェクト

環境問題に取り組むためには、環境保全活動への関心や参加意欲の向上、環境保全活動を担う人材や組織の発掘・育成などが求められます。こうしたことから、第2次環境基本計画の中で市民・事業者と市が協働して取り組む「協働プロジェクト」を位置づけています。

「望ましい環境像」実現に向けて協働プロジェクトを推進することにより、環境問題への関心の拡大、環境活動への参加拡大、地域コミュニティの活性化、町会・自治会と環境保全活動団体の連携拡大を図ります。

協働プロジェクトの評価は、市で把握できる市民・事業者との協働による活動実績（評価指標として参加者数、活動箇所数や参加世帯数など）及び活動状況などについて把握し、5つのプロジェクトごとに結果をとりまとめ評価します。

### 第1節 里山復活プロジェクト

私たちの生活の源である里山・谷戸や身近な斜面緑地など、貴重なみどりの機能を回復することが重要です。地下水かん養や生物多様性の保全など、みどりや水辺の持つ多面的機能の回復をめざします。

	28年度実績
評価指標	戸吹環境教育・学習拠点整備事業（活動箇所1、受講者17人前年比1人減） 「上川の里」特別緑地保全地区整備（活動箇所1、参加者延べ700人前年比200人増） 川口川上流域谷戸と水路の生きものプロジェクト（参加者17人前年比16人減） 公園アドプト制度（活動箇所19、登録者1,565人前年比53人増）

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

#### <市内部での総括評価>

里山復活プロジェクトに該当すると考えられる事業が環境政策課、環境保全課、水環境整備課、公園課の4所管において行われている。公園では指定管理者制度で管理運営を行い、管理している里山では水田や畑、炭焼きなど環境保全団体等が主体となって取り組んでいる。また、里山の保全活動だけでなく、「上川の里」特別緑地保全地区整備と川口川上流域谷戸と水路の生きものプロジェクトでは環境教育・環境学習の場として活用している。戸吹環境教育・学習拠点整備事業として最終処分場用地を活用した人材育成研修「里山サポーター育成講座」を初心者向けとフォローアップ講座の2講座に拡大した。

#### <今後の展開>

「上川の里」特別緑地保全地区では、29年度に都市緑化はちおうじフェアのスポット会場として活用し、やまゆりフェスタなどのイベントや事業を市民主体で実施していく。

#### <環境推進会議での相互評価>

八王子の魅力のひとつであるみどりをPRするためにも里山の保全活動を支援し、イベントなどで活用することが必要である。市民・事業者・市との協働により維持管理や活用に努めていただきたい。

## 第2節 生ごみ資源化促進プロジェクト

「循環型都市八王子」の実現には、一層のごみの減量・資源化が重要です。生ごみの減量・資源化のため、地域の特性に応じた生ごみの地域循環を促進します。

	28年度実績
評価指標	ダンボールコンポスト講習会（参加者 464 人前年比 17 人減）

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

### <市内部での総括評価>

家庭へダンボールコンポストを普及するため、八王子市生ごみリサイクルリーダーによる講習会を実施しており、生ごみリサイクルリーダーの活用場ともなっている。ダンボールコンポスト購入に対して補助を行っている。ダンボールコンポストで作ったたい肥を全国都市緑化はちおうじフェアで活用するため、講習会の回数を増やした。

### <今後の展開>

八王子市生ごみリサイクルリーダーとともに生ごみ減量・資源化の冊子を作成し、生ごみ資源化等の啓発に努める。

### <環境推進会議での相互評価>

生ごみの資源化については、地域で簡単に取り組めるダンボールコンポストが重要だと考え、引き続き資源化を促進していただきたい。また、生ごみリサイクルリーダーを増やすことにより全市に広がる取り組みとなるよう努めていただきたい。

## 第3節 省エネ応援プロジェクト

地球温暖化を防止するためには、一人ひとりがCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいくことが重要です。家庭や職場、地域などで省エネ知識を高め、簡単に継続的に取り組める省エネ行動を応援します。

	28年度実績
評価指標	家庭における省エネの推進(はちおうじ省エネ国の会員[3,640世帯]前年比312世帯増)

基本施策の評価： 目標を達成した

### <市内部での総括評価>

地球温暖化防止活動推進員同士で勉強会を実施し、自身のレベルアップとして「家庭の省エネエキスパート検定」取得に取り組むとともに、講座やイベントを通じて省エネに関する知識の普及啓発を図った。環境フェスティバルや地球温暖化防止普及啓発イベントなどで、はちおうじ省エネ国の参加登録を募り、前年比9%増となった。

### <今後の展開>

地球温暖化防止活動推進員の地域での活動の幅を広げ、市域全体に展開していく。また、はちおうじ省エネ国の参加を募ることにより継続的に省エネ活動を実施する世帯を増やす。

### <環境推進会議での相互評価>

はちおうじ省エネ国への参加者が増えていることは、省エネに意識的な方が増えていると評価できる。地球温暖化防止活動推進員が地域で活動することにより、すべての市民にCO<sub>2</sub>排出量の削減の必要性を周知啓発できるよう努めていただきたい。

#### 第4節 環境教育サポートプロジェクト

環境問題を解決していくためには、一人ひとりが問題を認識・理解し、行動することが重要です。小・中学校における総合的な学習の時間などを活用し、学校での環境教育を支援します。

	28年度実績
評価指標	環境教育支援事業（実施22校、授業を受けた児童・生徒延べ4,357人前年比163人増） 八王子浅川水辺の楽校（授業を受けた児童・生徒延べ214人前年比186人減） 八王子市小学校科学教育センター事業（センター生に登録した児童107人前年比4人減） 自然観察会（参加者90人前年比14人増） 北野環境教育・学習拠点づくり（環境施設の社会科見学及び職場体験で受け入れた児童・生徒延べ3,132人前年比121人増）

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

##### <市内部での総括評価>

児童・生徒を対象とした環境学習を地域の人材を活用して、5所管が実施している。里山や河川などでの体験学習のため天候などにより参加人数は増減するが、計画に沿った事業を実施した。

##### <今後の展開>

小・中学生に環境学習を行うことで環境意識の向上を図る。

##### <環境推進会議での相互評価>

小学生・中学生への環境教育は非常に重要な取組である。市民・事業者・市との協働により支援校を増すなど拡大していく取組としていただきたい。

## 第5節 地域の環境美化プロジェクト

まちの美化を進めるためには、モラルやマナーを守り、都市の美観を保持することが重要です。市民・事業者が、清潔で美しい地域の環境づくりに取り組めるよう支援します。

	28年度実績
評価指標	道路アドプト制度（登録者 3,829 人前年比 227 人減）
	公園アドプト制度（登録者 19,208 人前年比 29 人増）
	水辺の水護り制度（登録者 21 団体 406 人前年比 32 人増）
	落書き消去活動（参加者延べ約 58 人前年比 64 人減）
	生活安全パトロール（参加者延べ約 500 人前年に同じ）
	違反屋外広告物除去活動（参加者延べ 163 人前年比 8 人減）
	八王子中町・花街の街並みの維持活動（参加者 7 人 前年比 1 人増）
	市民緑化支援事業（協力 15 団体前年に同じ）
	花づくり事業（会員 56 人前年に同じ）
	戸吹清掃美化委員会（参加者延べ 132 人前年に同じ）
	慰霊塔清掃（参加者延べ 60 人前年比 89 人減）
	老人ホーム跡地美化（参加者延べ 1,250 人前年に同じ）
	みんなの町・川の清掃デー（参加者 22,086 人前年比 2,679 人減）
南浅川にぎわいづくり（参加団体 23 町会）	

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

### <市内部での総括評価>

まちの美化をすすめるために9所管で13事業行っている。公園アドプトでは新規登録12団体、水辺の水護りで新規登録2団体など、おおむね参加者は増加している。事業者、町会、自治会、学校、個人、環境保全団体などの様々な主体が活動している。

### <今後の展開>

引き続き地域の環境美化に努める。

### <環境推進会議での相互評価>

多くの市民ボランティアが継続して美化活動に努めていることは高く評価できる。これらの美化活動が永続的に活動できるよう市は支援し、更に多くの市民が参加できるように努めていただきたい。